

第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画一部改定（案）について

1 趣旨

鴻巣市では、将来都市像である「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」の実現に向けて、第6次鴻巣市総合振興計画後期基本計画（以下「本計画」という。）を令和4年3月に策定しました。本計画では、6つの政策を達成するための必要な施策、基本事業を体系化し、成果指標を定めていますが、社会情勢の変化や少子高齢化に対応した計画的なまちづくりをさらに推進するため、政策6施策4（効率的な行財政運営の推進）の課題と方向性について一部改定を行います。

2 改定箇所

110ページ 政策6施策4 効率的な行財政運営の推進

3 改定内容

課題と方向性に「統合等に伴う公共施設等の跡地については、地域の実情を踏まえた地域の活性化に資する施設として、民間活力の導入も視野に入れながら有効に活用できる用途への転用を図ります。」と追加します。

※次ページ参照

施策 6 - 4 効率的な行財政運営の推進

■ 施策の目指す姿

効率的な行財政運営が継続的に行われています。

■ 目標指標

成果指標	現状値 (R2)	目標値 (R8)	説明
施策成果目標の達成率	66.7%	85.1%	本基本計画で定める全 28 施策の成果目標 (47 目標指標) の達成割合であり、前期基本計画の成果を測る指標です。
経常収支比率	93.6%	93.6%	市財政の弾力性を表す数値で、財政状況の安定性を測る指標です。この数字の比率が高いほど財政状況が硬直化していることを示します。

■ 取り巻く現状・環境変化

- 人口構造の変化に伴う義務的経費の増加に加え、公共施設等の老朽化による投資的経費の増大も見込まれることから、今後の財政見通しはさらに厳しくなることが予想されます。
- マイナンバーなどを含む特定個人情報を扱うことから、高い水準のセキュリティ対策を講じつつ、利用者目線での行政サービスのデジタル化が求められています。
- テレワークによる勤務、子育て目的の休暇等の取得促進などにより多様な働き方を推進し、働きやすい職場環境の整備を進めています。

■ 課題と方向性

- 持続的な行政経営に向け、収納率向上などにより安定財源を確保することや、行政評価によるPDCAサイクルを効果的に機能させることにより、各施策に掲げた成果目標の達成を目指します。
- 公共施設等に係るトータルコストの縮減を図りつつ、官民連携手法等の積極的な導入による提供サービスを充実させる「拡充から縮充への転換」を推進します。
- デジタル技術を活用して、業務の効率化及び市民の利便性向上を図り、誰一人取り残さないデジタル社会の形成を目指します。
- 多様な市民ニーズに応えるために、人事評価等を活用した人材育成を進め、質の高い行政経営を行います。

● 統合等に伴う公共施設等の跡地については、地域の実情を踏まえた地域の活性化に資する施設として、民間活力の導入も視野に入れながら有効に活用できる用途への転用を図ります。

■ 部門別計画

鴻巣市公共施設等総合管理計画 (H29~R38)
 鴻巣市デジタル・トランスフォーメーション推進計画 (R4~R8)

